

2007年3月期 中間決算説明会

内 容

1. 説明

- (1) 2007年3月期 中間業績の概況
- (2) 2007年3月期 中間決算分析と下期への展望
- (3) トピック： 顔料事業のバリューチェーン

2. 質疑応答

以上

- 日時:2006年11月27日
- 会場:東洋インキ製造(株) 大会議室

本資料中の計画、予想は2006年11月27日現在の認識・前提にたっており、
これからの国際情勢、経済事情、事業環境等に著しい変化があった場合には、
実際の業績が記載と大きく異なる可能性があります。



2007年3月期 中間業績の概況

世界に役立つスペシャリティケミカルメーカーとして 進化する企業グループを目指す

- ◆ 第一の100周年の完結
- ◆ 20世紀型モノづくりから21世紀型モノづくりへの脱皮

モノづくり企業グループとして独自のコストダウンシステムを作り上げる

- 素材から製品までのワークフローの最適化

開発（技術）、開拓（営業）、拡張（事業領域）を粘り強く行う

- 新しいマーケティング手法をベースにした成長モデルを生み出す

エリア別の戦略・戦術を強化して、縦型主体の組織運営から
縦横戦略連携プレーによるマトリクスマネジメントへ進化させる

(単位:億円)

科 目	2006年9月期	2005年9月期
売上高	1,208	1,148
売上原価	929	877
販売費・一般管理費	213	202
営業利益	66	69
営業外収益	11	14
営業外費用	10	9
経常利益	68	74

科 目	2006年9月期	2005年9月期
特別利益	15	1
特別損失	5	22
税金等調整前 当期純利益	77	53
法人税、住民税 及び事業税	20	15
法人税等調整額	11	7
少数株主利益	3	3
当期純利益	44	29

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
対前年同期増減率(%)	5.3	▲4.2	▲8.9	51.1
対中間予想増減率(%)	0.7	▲8.0	▲6.2	1.3
前回通期予想(億円)	2,500	155	155	75
今回通期予想(億円)	2,500	135	135	75

(単位:億円)

科目	2005年 9月末	2006年 3月末	増減率 (%)	2006年 9月末	増減率 (%)
流動資産	1,348	1,555	15.4	1,494	▲4.0
固定資産	1,425	1,498	5.1	1,527	1.9
資産合計	2,773	3,053	10.1	3,020	▲1.1

流動負債	934	946	1.3	984	4.0
固定負債	491	524	6.9	431	▲17.7
負債合計	1,425	1,470	3.2	1,415	▲3.7
少数株主持分	56	68	21.3	—	—

科目	2005年 9月末	2006年 3月末	増減率 (%)	2006年 9月末	増減率 (%)
資本金	246	317	28.9	317	0.0
資本剰余金	258	329	27.4	329	0.0
利益剰余金	767	789	2.9	818	3.6
自己株式	▲2	▲2	***	▲2	***
その他有価証券 評価差額	55	92	65.8	85	▲7.7
為替換算 調整勘定	▲32	▲10	***	▲10	***
少数株主持分	—	—	—	68	—
純資産合計	1,293	1,515	17.2	1,605	5.9
負債純資産合計	2,773	3,053	10.1	3,020	▲1.1

	連結会社 従業員人数(人)	連結子会社 (社)	持分法適用 関連会社(社)	総資産	純資産	自己資本 比率(%)	ROA (%)	ROE (%)	有利子 負債	保証 債務
2006年3月末	6,495	63	8	3,053	1,515	49.6	2.18	4.54	734	23
2006年9月末	6,557	66	8	3,020	1,605	50.9	*2.87	*5.71	631	21
2007年3月末 (予想)	6,500	66	8	3,100	1,600	49.4	2.44	4.89	650	20

2007年3月期 中間決算分析と下期への展望

(単位:億円・%)

	印刷インキ		グラフィックアーツ 関連機器および材料		高分子関連 材料		化成品および メディア材料		その他		消去又は全社		合計	
	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)	売上高 (前期比)	営業利益 (前期比)
2004年 9月期	429 (1.0)	46 (4.1)	163 (3.7)	6 (443.6)	215 (6.0)	19 (13.7)	286 (11.0)	55 (61.2)	63 (32.6)	2 (***)	▲32 (***)	▲59 (***)	1,125 (6.1)	70 (75.7)
2005年 3月期	878 (3.2)	91 (▲0.5)	331 (▲1.6)	11 (74.4)	430 (5.5)	36 (▲0.6)	578 (8.0)	98 (25.6)	140 (47.3)	4 (***)	▲65 (***)	▲118 (***)	2,293 (6.0)	123 (29.9)
2005年 9月期	449 (4.5)	42 (▲9.8)	173 (5.9)	5 (▲10.2)	217 (1.0)	18 (▲4.4)	291 (1.7)	53 (▲3.3)	53 (▲15.2)	1 (▲68.0)	▲35 (***)	▲50 (***)	1,148 (2.1)	69 (▲0.8)
2006年 3月期	938 (6.8)	84 (▲7.8)	336 (1.5)	9 (▲22.4)	445 (3.5)	34 (▲4.5)	604 (4.6)	107 (8.8)	107 (▲23.9)	3 (▲35.7)	▲68 (***)	▲105 (***)	2,362 (3.0)	132 (7.2)
2006年 9月期	494 (10.1)	41 (▲0.4)	155 (▲10.1)	5 (▲13.1)	234 (7.8)	21 (14.2)	308 (5.8)	48 (▲9.3)	50 (▲5.7)	3 (239.1)	▲33 (***)	▲52 (***)	1,208 (5.3)	66 (▲4.2)
2007年 3月期 (予想)	995 (6.1)	83 (▲0.8)	340 (1.1)	10 (13.9)	480 (7.9)	43 (25.3)	640 (6.0)	101 (▲5.5)	110 (3.0)	3 (12.4)	▲65 (***)	▲105 (***)	2,500 (5.8)	135 (2.6)

■印刷インキ

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2005年 9月期実績	449	42
2006年 9月期実績	494	41
2007年 3月期予想	995	83

通期の施策

1. 日本・欧州・米国で次世代型高付加価値製品を拡大
2. 品種統合を加速し、拠点集約効果を最大化する
3. UVインキ事業の拡大
4. アジア成長地域における事業拡大の継続
5. 原料費高騰に対応した独自のビジネスモデルによるコストダウン

実行結果

- ❖ 日本および、海外（中国、東南アジア、北米）で拡販
- ❖ 原料費高騰が利益を圧迫
- ❖ グラビアインキの価格修正を実施
- ❖ 広演色インキ・環境対応型インキなどの高付加価値製品を拡大
- ❖ UVインキが国内外で好調に推移
- ❖ 品種統合、原料置き換え等の施策によるコストダウンを実施

下期の展開

- ❖ 原料費の高止まり
- ❖ 品種統合によるコストダウンの継続推進
- ❖ 海外でのインキ事業拡大を継続推進
- ❖ グラビアインキ事業におけるワンパッケージ提案でのトータルソリューションの実践
- ❖ 高機能インキの開発と顧客への提案
- ❖ ロジスティクス改善によるコストダウン

グラフィックアーツ関連機器および材料

グラフィックアーツ関連機器 および材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2005年 9月期実績	173	5
2006年 9月期実績	155	5
2007年 3月期予想	340	10

通期の施策

1. 次世代印刷色調検査システム販売を開始
2. カラーマネジメントノウハウによるワークフロー提案で、印刷インキ事業へ貢献
3. アライアンスの継続強化による、利益率向上

実行結果

- ❖ 前期特需の反動による機械の売上が減少
- ❖ デジタル印刷機はメーカーとのアライアンスにより拡販
- ❖ 同業他社との共同購買によるコストダウン
- ❖ 国内設備投資需要が落ち込んだものの、ワークフロー提案による販売強化の実施

下期の展開

- ❖ アライアンス活用によるコストダウンと販売の強化
- ❖ 新型紙面検査装置の開発
- ❖ 顧客へのワークフロー提案による印刷インキ販売支援

■ 高分子関連材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2005年 9月期実績	217	18
2006年 9月期実績	234	21
2007年 3月期予想	480	43

通期の
施策

1. エレクトロニクス（FPD・FPC）向け高機能材事業の拡大
2. 自動車・ライフサイエンス市場への展開加速
3. 低収益品の収益改善
4. 高機能分野の川下展開による付加価値の取り込み

実行
結果

- ❖ エレクトロニクス、ディスプレイ向けの高機能製品を拡販
- ❖ 缶用塗料は中国・東南アジアで好調
- ❖ 自動車向け部材加工の新会社を設立（中国・天津）
- ❖ 原料費高騰に対応した販売価格の一部修正

下期
の
展開

- ❖ 高付加価値製品へのシフト継続による事業構造の変革
- ❖ コストダウンと販売価格の適正な修正
- ❖ エレクトロニクス、ディスプレイ、自動車、ライフサイエンス市場への拡販強化

化成品およびメディア材料

(単位：億円)

	売上高	営業利益
2005年 9月期実績	291	53
2006年 9月期実績	308	48
2007年 3月期予想	640	101

通期の施策

1. CFレジストインキ拡大に向け、台湾CF内製パネルメーカーへの積極展開
2. 高機能顔料・分散体の拡販強化
3. 産業用インクジェット材料の継続拡大
4. 着色剤事業のグローバル展開を推進
5. 顔料と印刷インキ事業のグローバルでのグループシナジー発揮
6. 天然物由来製品事業の加速と生産インフラ整備

実行結果

- ❖ CFレジストインキは、在庫調整の影響を受け、需要減少。特に台湾ではCF内製化進展により低調
- ❖ 欧州の汎用顔料事業が低調
- ❖ 高機能顔料・分散体・インクジェット材料の販売が好調
- ❖ プラスチック用着色剤の海外拠点における事業拡大

下期の展開

- ❖ CFレジストインキの需要動向が不透明。台湾市場ではCF内製パネルメーカー分のCFレジストインキ獲得強化
- ❖ 高品位CFレジストインキ開発力の維持強化
- ❖ 欧州での顔料事業の構造改革を継続し、グローバルでの最適供給体制を確立
- ❖ 着色剤新拠点の早期稼働

所在地別セグメントの実績と概況

2005年9月期 2006年9月期
売上高 営業利益 売上高 営業利益

概況

(単位：億円)

1. 日本

950

57

957
(0.8%)

50
(▲12.0%)

●高機能顔料、プラスチック用着色剤、インクジェット材料、粘接着剤が好調。しかし、原料費高騰の継続とCFレジストインキが低調に推移したことにより減益。

2. 中国
・アジア
・オセアニア

206

11

254
(23.6%)

14
(34.6%)

●中国で印刷インキが売上、利益ともに拡大。タイ、マレーシアでも、売上が伸長。前期稼動した中国のプラスチック用着色剤新会社も売上を伸長。缶用塗料も東南アジアで拡大。

3. ヨーロッパ

37

▲2

37
(▲0.6%)

▲5
(***)

●主力の汎用顔料事業において、原料費高騰。顧客の資本再編に伴う内製化により需要減少。市場環境が悪化し損失が拡大。高機能顔料事業や印刷インキ事業の強化を図る。

4. 北米

52

0.2

60
(15.3%)

4
(1,888.2%)

●オフセットインキは、販売強化により好調に推移。グラビアインキも需要増により好調。高機能材料やプラスチック用着色剤でも拡販。

連 結

1,148

69

1,208
(5.3%)

66
(▲4.2%)

※決算期：日本は4～3月、海外は1～12月

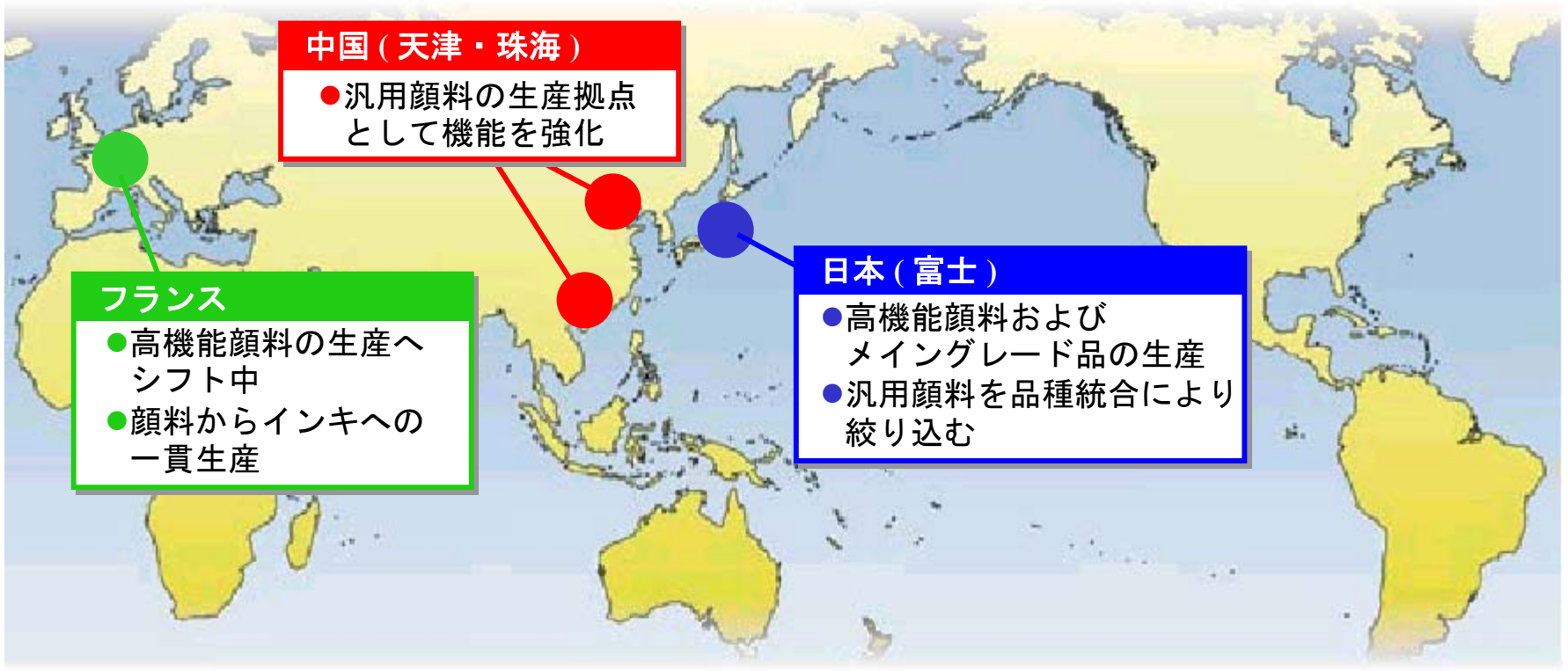
(単位:億円)

	2006年 3月期 売上高	2006年 9月期 売上高 (前年同期比)	2007年 3月期 売上予想	2006年 3月期 営業利益	2006年 9月期 営業利益 (前年同期比)	2007年 3月期 営業利益予想
日本	1,913	957 (0.8%)	1,980	105	50 (▲12.0%)	103
中国・アジア ・オセアニア	467	254 (23.6%)	530	24	14 (34.6%)	29
ヨーロッパ	75	37 (▲0.6%)	80	▲6	▲5 (***)	▲9
米国	114	60 (15.3%)	120	2	4 (1888.2%)	7
消去又は全社	▲206	▲100 (***)	▲210	5	4 (***)	5
連結	2,362	1,208 (5.3%)	2,500	132	66 (▲4.4%)	135

ドメイン別主要新製品	目 標	半期売上小計	年間目標に対する進捗率
環境調和型印刷・包装資材材料事業			
オフセット環境対応新製品 UVインキ新製品群 次世代ラミネートグラビアインキ 高速印刷機用新聞インキ 他	200億円	96億円	48%
機能性材料事業			
FPD関連製品群 光学・電子・メディカル用粘着剤 FPC関連粘着テープ製品群 高機能接着剤 他	105億円	48億円	45%
電子・情報材料事業			
CFレジストインキ 産業用インクジェット材料 RFID用材料 有機EL 他	255億円	124億円	48%
合 計	560億円	268億円	48%

トピック：顔料事業のバリューチェーン

顔料事業ではグローバルな視点から最も効率的な生産体制を構築

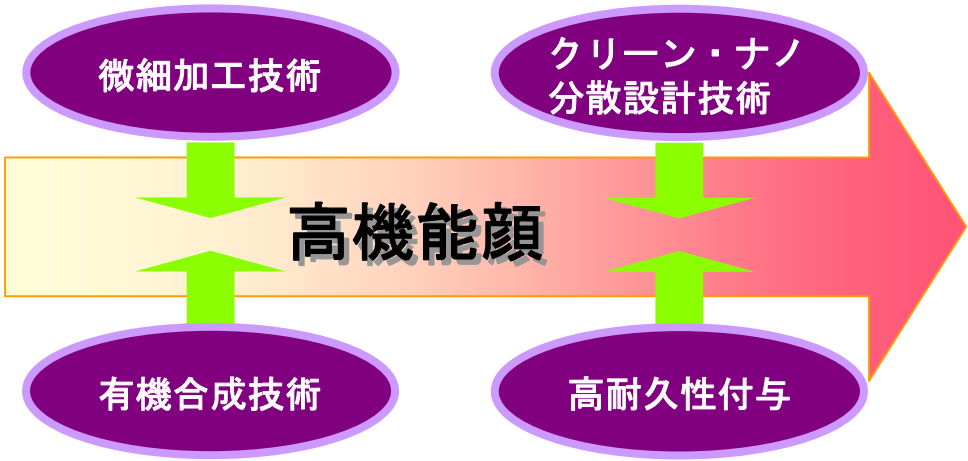


汎用顔料は品種統合を進めた上で中国の生産拠点を活用
日本・フランスの生産拠点では高機能顔料の供給体制を強化

トピック

顔料のスペシャリティ化とバリューチェーン

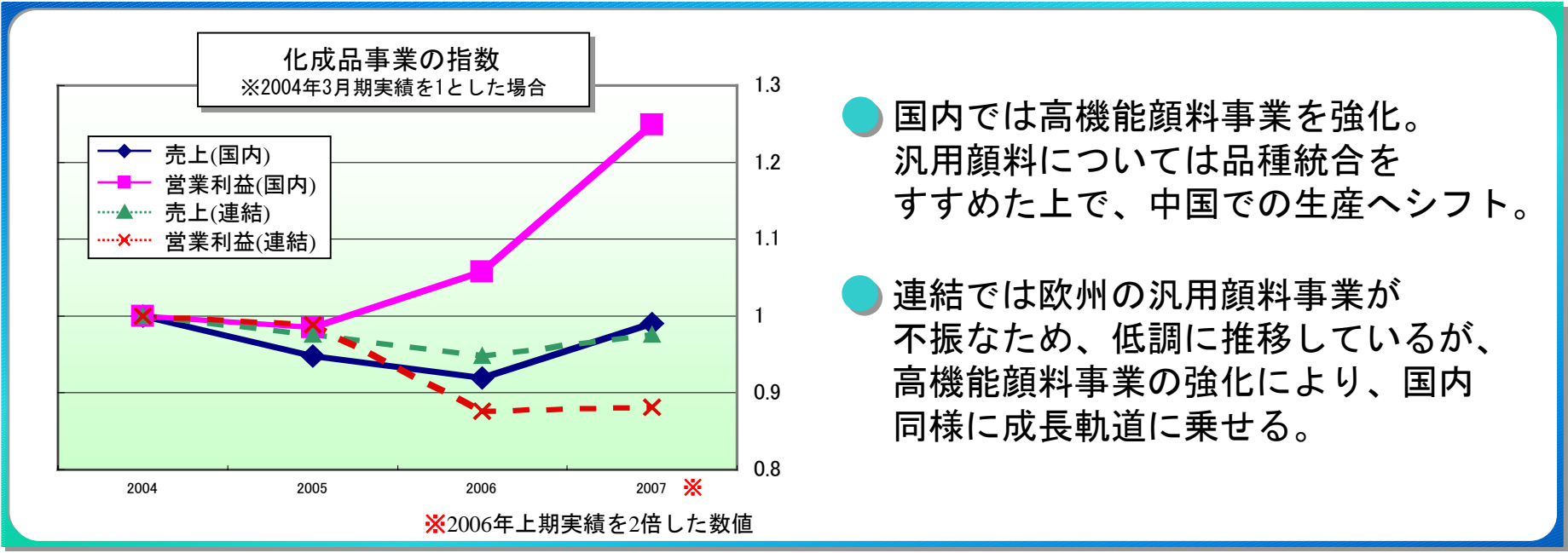
汎用顔料
 ■用途・印刷インキ



高機能顔料をベースにして高付加価値製品群を拡大

高機能プラスチック用着色剤、自動車用塗料、CFレジストインキ、産業用インクジェットインキ
 など

東洋インキはこれらの技術により、微細で優れた性能を持つ高機能顔料を製造出来る世界でも有数のメーカーである



LCDカラーフィルターレジストインキ

色彩・色素テクノロジー

顔料合成

- ナノオーダーの微粒子コントロール
- 顔料表面処理

顔料分散

高分子、分散テクノロジー

- 安定した顔料分散体製造のための分散技術

CFレジストインキ

高分子、光電子材料テクノロジー

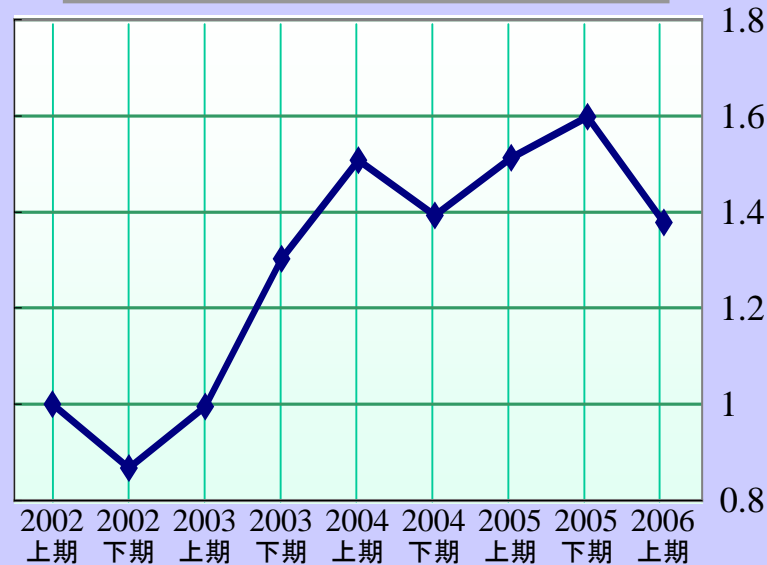
- カラーフィルターに適したレジストインキのカスタマイズ

カラーフィルター

キー素材である顔料の合成からレジスト化まで
垂直統合型のビジネスモデルにより開発力を強化

CFレジストインキ売上指数（半期推移）

※2002年上期実績を1とした場合

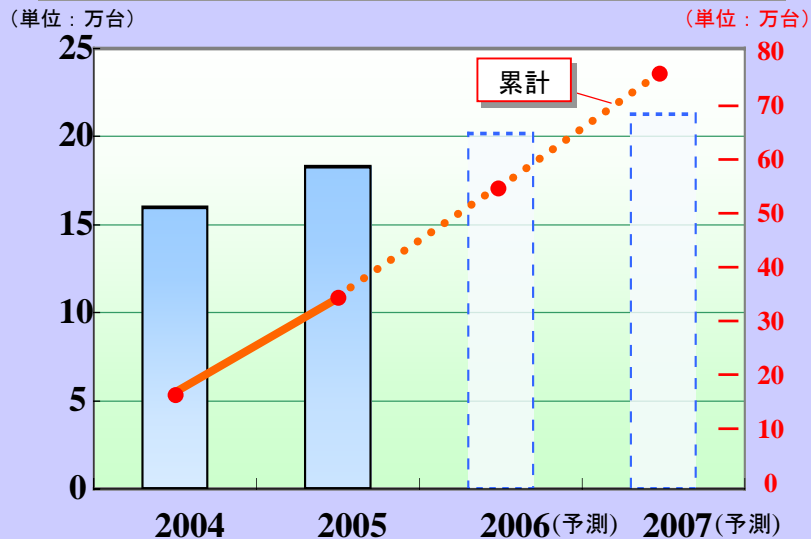


産業用インクジェットインキ

背景

■ ワイドフォーマットプリンターが好調に伸長

ワイドフォーマットプリンター出荷台数（全世界・A2サイズ以上）



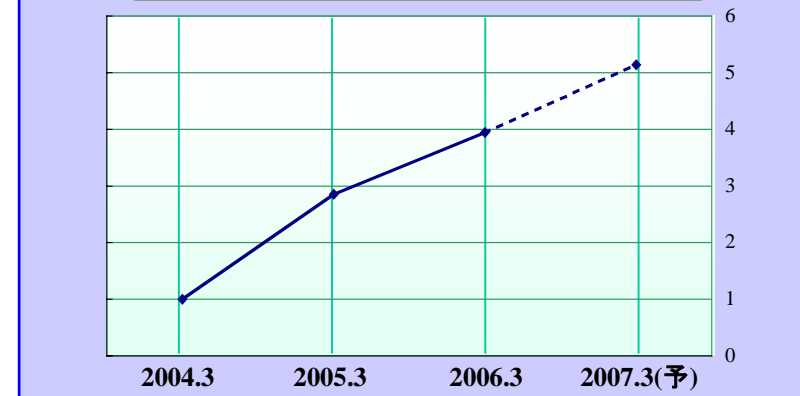
※当社調べ

※累計は2004年以降

ニーズ

- 耐候性
- 演色性
- 密着性
- 環境対応

売上（指数）

インクジェット材料売上推移
※2004年3月期実績を1とした場合

市場・用途



■ 屋外広告



■ バスラッピング